

KSKP

たびだち つうしん

出

発

通

信

NPO法人 出発のなかまの会

170号

一九八四年 八月二十日 第三種郵便物承認
 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日) 発行



もくじ
目次

しょうがいじそつだんしえんじぎょう 障害児相談支援事業「ともにれ」	2
いま 今、できることを	3
コロナのこと/コロナ禍の中でも自分らしく生きて行こう	4、5
「備えあれば憂いなし!」というけれど、憂えていくのも悪くはない!	6
どんどん新聞より	7
はじめての資格取得	8
結成! 第1期たびだち劇団!	9
出発のなかまの会初代代表フーベルト神父が昨年永眠されました/スタッフ子育て日記	10
NPO総会&どんどん総会を終えて	11
活動のあと	12

しょうがいじそつだんしえんじぎょう 障害児相談支援事業「ともにれ」

2020年9月より障害児相談支援事業を始めることになりました。当面は相談員ひとり体制で児童のみを対象とした小さな事業所ですが、子どもたちや保護者の方と「ともに」歩きたい。そして「にれ」の木のように子どもやその家族が大きく枝をひろげ、根をはって生きていける社会にしたい。そんな思いを込めて「ともにれ」と命名しました。

相談支援専門員の研修に行くと『ストレングス』に注目しましょう。弱いところは『リフレーミング』しましょう」とよく言われます。好きなことや得意なことをさらに伸ばしていくことや、こんなことが出来るようになった！という喜びは自信につながるとても大切なことだと感じます。特にこれから様々な経験をする子どもたちは、自分に自信をもって育てほしいと思います。ただ、苦手なこと、できないことを全て「リフレーミング」するのではなく、ありのままに受け止めることも必要だとも思っています。うまくいかないなあということがあっても、それでも良いと周りが思うことで本人も社会も育っていくのではないのでしょうか。

相談員に求められているのは専門職 中心の支援プランを作るのではなく、みんなで支えあえる社会を作る一助になることではないかと思えます。本人、家族の希望を中心に考えたとき、今あるサービスにつなげるだけでなく、資源を作り出さなければ希望に添えないことも多くあるでしょう。そうやって作り出された資源はきっと他の方にとっても必要な資源であるはず。色々な枠組みを超えて取り組むことで誰にとっても暮らしやすい地域を作っていけると思っています。

まだ何が出来るかわかりませんが、寄り添い続ける存在でありたいと思っています。

(ユカ・S)



いま、できることを

史上最年少でタイトルを獲った藤井聡太棋聖が同じく最年少で2冠を達成しました。新型コロナウイルスの感染拡大で暗いニュースが多いなか、日本中が沸きましたね。その藤井さんの最初のタイトル戦のある対局で、劣勢だった局面が相手の棋士のミスで大きく動いたという話を聞きました。予測できないミスも含めたところが将棋という「ゲーム」の面白さで、AI相手だとこれがないのかなあと思いました。裏を返せばミスをすることが人間らしさということ…。ということは、人が人間らしくあるためにはミスできることを保障しないといけな。これって、まさに「失敗してもよい」ということを保障する「支援」の考え方にも通じるところがあると思いませんか。

人間はどうやら何度も失敗をする生き物のようです。しかも同じ失敗をしてしまうことも多い。最近、子どもたちだけでなく、大人も失敗を恐れて足を踏み出せないことが多いように思います。「失敗したら最後」といわんばかりです。私は、だれもが生活のなかで失敗したり人間関係でつまずいたりしても大丈夫という経験を積み重ねて豊かに成長していき、そのような寛容な社会になることを願っています。

さて、生野子育ち社会化研究会では、人が集まる子ども食堂やプレーパークの開催が難しくなり、食堂はお弁当の宅配に、プレーパークは「子育てなんでも相談会」へと形を変えて、地域の子どもの育ちを応援しています。また、厳しい養育環境に置かれた子どもの支援について、研究者を招いて学習会を開き、地域の実践者、研究者、行政職員らが意見交換し、多くの学びと気づきを得ました。私自身は外出を控えることが増えたおかげで?“積読”になっていた本を手取る時間が増えました。パンデミックが終息したら、行きたい場所がたくさんあるので、今のうちにできるだけ読んでしまおうと思います。

棋聖のタイトルを獲った直後のインタビューで、応援してくれたファンに向けて「これからも楽しんで見ていただけるような将棋が指せるように精進いたします」と発した17歳の青年の言葉に、「いやいや、こちらこそ頑張ります」と思ってしまった私なのでした。

(カオリ・I)



コロナのこと

コロナはどこから来たんや。

じゃましにくるな。

いつになったら老人ホーム入れるんですか。

旅行にも行きたいです。

外食にも行きたいです。

書道にも行きたいです。

銭湯にも行きたいです。

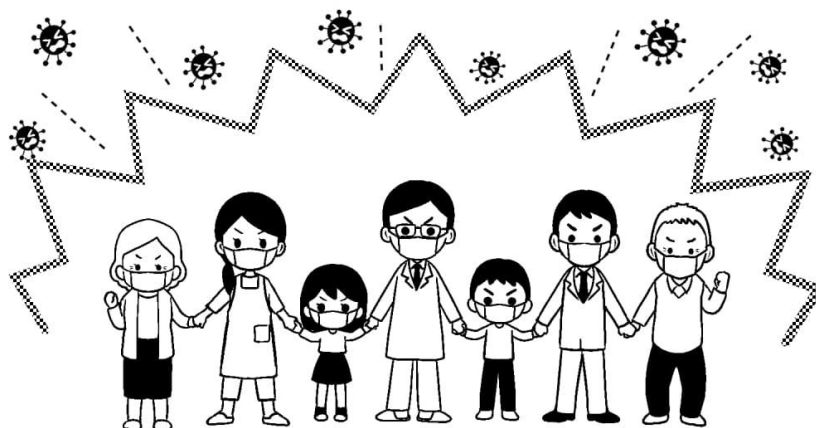
しんどくなって休むこともあります。

コロナ、あっちいけ。

コロナをぶっとばせ。

ワクチン早くできてほしいです。

(スウワ・K)



コロナ禍の中でも自分らしく生きていこう

世界中に猛威を振るっている新型コロナウイルスは、7月に入り日本国内でも感染が再拡大し、多くの方が感染に苦しまれ、亡くられる方も増えています。お悔やみ申し上げます。感染したり濃厚接触者にならなくても、コロナ禍によって社会が一変し、すべての人の生活が変わらざるをえなくなり、大変な思いをしている人が大勢います。

個人的にはこれまで避け続けていた、ネット社会、オンライン生活にとうとう足を踏み入れ、避け続けていたことが馬鹿らしくなるくらい、便利になった生活を満喫していますが、家族で当たり前に行っていた買い物や外食にもほとんど行かなくなった生活は、やはりさみしいものです。

当会のメンバーさんの生活も3月の感染拡大以降、大きく変わりました。お出かけやサークル活動、イベント参加を自粛したり、4月からの緊急事態宣言の際には外食をはじめコンビニ、スーパーなどの買い物も自粛していました。活動再開後も以前のようなお出かけができないメンバーさんが大多数です。

当会以外でも、僕は電車で通勤していますが、毎週末、単独やヘルパーさんとお出掛けを楽しんでいる障害者を見かけていましたが、今はほとんど見ることはなくなりました。

「三密」を避けたり、感染が拡大している繁華街での活動や音楽やスポーツなどのイベント参加は慎重にならないといけなんでしょう。それでも、障害者だけがいなくなった街を見ると、コロナ禍に限らず、この社会の中で障害者が置かれている弱い立場や厳しい状況を改めて意識せざるを得ません。

当会は障害があろうがなかろうが地域の一人として暮らす。自分らしく暮らすために、自分の権利を主張し、自らに関わることに積極的に参加・決定することを大切にしてきました。そして、失敗を経験に変えながら、様々な活動を続ける中で、メンバーさんそれぞれの楽しみ、生活を見つけました。

長引くコロナ禍の中で、今までのような楽しみ、お出かけ、サークル活動などはできないのかもしれませんが。だからといって、危ない、怖いと内にこもってしまうのではなく、これまで培ってきたものを今こそ生かして、新たな楽しみ、新たな生活を探していくための活動を積極的にしていけたらと思います。

(シンペイ・H)

「^{そな}備えあれば^{うれ}憂いなし！」っていうけれど、^{うれ}憂えていくのも^{わる}悪くはない！

今年^{ことし}は、コロナ禍^かの中で、今^{いま}までのような生活^{せいかつ}はできなくなった。人と会う^{ひとあ}ことや楽しみ^{たのしみ}の活動^{かつどう}ができない自粛^{じしゅく}した生活^{せいかつ}…、ストレス^{かか}を抱えながらマスク^{はんかがい}をし、繁華街^いへは行かず、アルコール消毒^{しょうどく}をして最大限^{さいだいいげん}予防^{よぼう}していても、どこかでウイルス^おをもらってしまうこともある。

大阪市^{おおさかし}から水害時^{すいがいじ}の避難確保^{ひなんかくほけい}計画^{けいかく}を作成^{さくせい}するよう通知^{つうち}があった。私^{わたし}たちの生活^{せいかつ}している大^{おお}阪市^お生野区^{せいやく}地域^{ちいき}は大和川^{やまとがわ}、寝屋川^{ねやがわ}流域^{りゅういき}が決壊^{けっかい}した場合は最大^{ばあい}3m^{さいだい}浸水^{しんすい}すると想定^{そうてい}されている。計画^{けいかく}は作成^{さくせい}し提出^{ていしゅつ}したが、想定外^{そうていがい}が起こる世^よの中^{なか}だから、避難方法^{ひなんほうほう}、避難先^{ひなんさき}での過ごし方^{かた}など、いろいろと考^{かんが}えておかないといけない。水害時^{すいがいじ}は近く^{ちか}の3階^{かいだ}建て^{じぎょう}の事業所^{じやうしょ}へ避難^{ひなん}する計画^{けいかく}だが、非常食^{ひじょうしょく}は定員分^{ていゐんぶん}しか用意^{ようい}しておらず、在宅酸素療法^{さいたくさんそりょうほう}をしているメンバー^ひの避難先^{ひなんさき}への酸素ボンベ^{さんそ}の移動方法^{いどうほうほう}を考^{かんが}えておかなければならないなど、考^{かんが}えなければならぬことは多く^{おほ}ある。細^{こま}やかなシミュレーション^{ひなんくんれん}と避難訓練^つを積み重ね^{かさ}、備^{そな}えていきたい。



先日^{せんじつ}、夜中^{よなか}12時^じごろKスタッフ^{めい}に「S(マンション名)^{ひじょう}！非常ボタン^{だれ}(誰かが)押^おした！」と慌^{あわ}てた様子^{ようす}で電話^{でんわ}がかかってきた。マンションでひとり暮らし^くをしているメンバーN^{かいたん}からで、マンションの階段^おを下^{そと}りて外^{ある}を歩^{おと}く音が電話口^{でんわぐち}から聞^きこえた。Kは驚^{おどろ}いたが、Nはパニック^{そうていがい}になると想定外^{うご}の動き^{うご}をすることがあるので会^あって確認^{かくにん}したいと思^{おも}い、その場^ばで待^{まち}つよう伝^{つた}えた。すぐさま^{ちか}近くに住^すむスタッフ^{げんち}に現^い地^ちへ行^いってもらったがそこにはおらず、火事^{かじ}なら危^{あぶ}ないと思^{おも}い、Nのひとり暮らし^く先^{さき}へ急^{いそ}いで向^むかった。あたりは消防車^{しょうぼうしゃ}や屋外^{おくがい}に出^でてきた住民^{じゅうみん}で騒然^{そうぜん}としていたが、火事^{かじ}はなくNは部屋^{へや}に戻^{もど}っていた。どうやら非常ベル^{ひじょう}が誤作動^{ごさどう}を起こしたようで、ひとまず^{むね}は胸^{むね}をなでおろしたのだが、非常時^{ひじょうじ}におけるひとり暮らし^くのメンバー^{ひなん}の避難^{ひなん}についても備^{そな}えていかないと感^{かん}じた。

このコロナ禍^かの中で、私^{わたし}たちはいつものこと^{ひまん}ができない不満^お、いつ終わ^わるのか分^わからない不安^{ふあん}を抱^{かか}えながら生活^{せいかつ}を送^{おく}っている。また豪雨^{ごうう}被害^{ひがい}は毎年^{まいとし}あり、大地震^{だいじしん}もあるといわれている。日常生活^{にちじょうせいかつ}を送^{おく}っているとケガ^{とっばつてき}や突発^{できごと}的な出来事^{おこ}はいつ起^{おこ}るのか分^わからない。「時^{とき}を戻^{もど}そう」なんて漫才^{まんさい}みたいなことにはならない。だから非常時^{ひじょうじ}や突発^{とっばつてき}的な出来事^{できごと}に対応^{たいおう}できるように備^{そな}え続けることは悪^{わる}くない。そして憂^{うれ}え続けるのも悪^{わる}くないだろう。

(サトシ・M)

しんぶん ぼっすい
どんどん新聞No.187 から抜粋しています。

しんぶん
どんどん新聞No.187



はっこうび 2020年 8月 31日
発行日
はっこうしゃ 自立生活センター・どんどん
発行所
おおさかしいくのくたじま 大阪生野区田島1-10-30
tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



そうかい
どんどん総会をなんとかやりました。

にちじ ねん がつ にち か ぼしよ きょうどうさぎょうしょ
日時:2020年5月26日(火) 場所:たびだち共働作業所・ととの木

ことし ◆今年は何モト!?

まいとし がつ さくねんど ほうこく ほんねんど かつどうけいかく はっぴょう そうかい
どんどんでは、毎年5月に昨年度の報告と本年度の活動計画を発表する総会を
します。ところが、今年は新型コロナウイルスの感染予防のため、大勢で集まることができま
せん。どういふかたちで総会を開催すればいいかをみんなで考え、報告をビデオで撮影し
て、会員の人には少人数で集まってもらい



ないよう かくにん
ビデオで内容を確認してもらうということになりました。

さつえいちゅう ようす き ほか てい こえ ひろ
撮影中は様子が気になった他のメンバーさんの出入りがあったり、うまく声が拾えな
かったりと悪戦苦闘しながらなんとか撮影を終えることができました。

そうかい とうじつ み こえちい き い
総会の当日にビデオを見た K さんは「声小さくて聞こえなかったん」と言っていました。

み なに き いろ ひと こえ
ビデオを見た Y.S さんは「何してんの?」と聞いたそうに色々な人に声をかけました。いつ

ちが はっぴょう しかた とまど ひと おお
もと違う発表の仕方に戸惑う人が多かったようです。

しんがた りゅうこう おな せいかつ おく むすか
新型コロナウイルスの流行でいままでと同じような生活を送ることが難しくなっ

ています。どんどんでもみんなで協力して乗り切っていきます!

初めての資格取得

ヘルプセンター・すきっぷでおこなわれたガイドヘルパー講座を受講しました。講座は座学が2日間、そして座学で学んだ知識を踏まえて、実際に障がい者の方と外出をする実習というのが内容になっています。実際に現場で働いているスタッフの方々が講師をしてくださいました。

座学では、「障がい者(児)福祉制度や移動支援従業者の義務」、「障がい者の人権」等を学びました。実際に現場で働いているからこそそのリアルな経験談も交えての講座となっており、とても分かりやすく、想像がしやすかったです。私も現場で働いている身なのですが、まだまだ知らないことも多く、新しい知識として得られることが多くありました。

また、当事者の方も講師としてやって来られ、パワーポイントを使い、自分たちが普段どんな活動をしているのか、何が好きで何が得意なのかを紹介してくださいました。障がい者という言葉でひとくくりにされがちですが、十人いれば個性も違い、好きなものも違うのだと改めて思いました。

3日目の実習は、当会のメンバーと松野農園まで一緒に行ってお弁当を食べるというものでした(コロナウイルス感染防止のため、近場での実習となりました)。グループホームに今回の講座の講師であるメンバーを迎えに行き、そこからメンバーとマンツーマンでの外出となります。メンバーとマンツーマンでの外出は初めてではなかったのですが、資格を取るための実習ということで、メンバーと出かける楽しさを感じつつ緊張もしました。講座を終えて無事に資格を取得できた私ですが、これからも成長し、いろんなことを学びながらメンバーと頑張りたいと思います！

(キズナ・T)



結成！第1期たびだち劇団！

たびだち かい しゅうねんきねん なに げき ねん ぶん かい
 出発のなかまの会40周年記念だ！何をしよう？劇で40年を振り返ったらどうだろう！
 こと はじ げきづく か こ できごと えん さいげん しゅうほう ひろう
 という事で始まった劇作り。過去の出来事を演じて再現するメモリプレイという手法が披露
 えんなど おこな いげん なら かんが こと
 宴等で行われているという意見から、それに倣って考えていく事になりました。

われわれ じょうえんじかん ぶん ぶんかん ねんぶん れきし
 我々メモリプレイチームにあてられた上演時間は15分。15分間に40年分の歴史、
 くわ こと も こ こと しゅうしゅう せんてい きやくほんづく
 加えて、これからの事を盛り込む事になりました。エピソードの収集・選定・脚本作りと
 さきょう き たいへん
 作業していきましたが、エピソードを決めるだけでも大変でした。どのエピソードもなくて
 はならないもので、どれも劇に入れたいと思う程、魅力的だったからです。脚本が出来上が
 るまで2ヵ月程かかりました。幾度も会議を繰り返し上演時間内に収まるよう、カットした
 えんしゅつ おお きやくほん ていせい じょうえんつき まちか おこな
 エピソードや演出は多くあります。脚本の訂正は上演月、間近まで行われました。

きゃくほん ていせい へいこう げき れんしゅう はじ げき れんしゅう つうじょうぎょうむ
 脚本の訂正と並行して、劇の練習も始まりました。劇の練習といっても、通常業務とは
 べつ じかん つく せりふ あんき ふたいじょう うご れんしゅう
 別で時間を作らなければなりません。台詞を暗記して舞台上で動けるようにするには練習
 じかん た はっせいれんしゅう おこな すうかい れんしゅう
 時間が足りませんでした。どうしたらいいだろう。発声練習を行っても、たった数回の練習
 こえ かんきゃく とど せんばいがた そうだん せりふ ろくおん おんげん なが こと
 では声は観客に届きません。そこで先輩方に相談。台詞を録音して音源として流す事になりま
 した。脚本の訂正・劇の練習・台詞の録音作業を並行して行う事になりました。チーム内だ
 て て た か たち
 けでは手が足りず、他チームの手も借りて、ようやく形になっていきました。

じょうえん ところ しんがた りゅうこう じょうえん び えんき
 やっと上演だ！という所で、新型コロナウイルスが流行。上演日は延期になりました。
 にってい みてい あつ こと むすか ころ たくさん ひと て か かたち
 日程も未定のままです。集まる事も難しい、この頃。せっかく、沢山の人の手を借りて形に
 ひろう ざんねん げき ひと あつ おこな
 できたメモリプレイが披露できないのは残念です。しかし、劇は人が集まれば行えます。それ
 ふたい よ えんしゅつ ことうく かんが なお そと
 が舞台でなくても良いのです。演出や小道具を考え直せば外でだってできるかもしれません。
 かた かんが かんが かた
 やり方さえ考えれば、これはこうあるべきという考え方にとらわれなければ、どこでだって
 みな み いただ ひ たの せいかつ あ ひょうげんほうほう
 できます。皆さんに観て頂ける日を楽しみに、これからの生活スタイルに合わせた表現方法
 もさく おち みな たの
 を模索していきたいと思えます。皆さん！お楽しみに！

(ワカナ・K)





たびだち かいしょだいたいひょう しんぶ さくねんえいみん
出発のなかまの会初代表・フーベルト神父が昨年永眠されました

ネルスキャンプ・フーベルト神父、この名前を知っている人は、出発のなかまの会の中でもだんだん少なくなっていると思います。初代生野こどもの家園長、初代出発のなかまの会代表を務められました。日本で50年余り神父として活動され、出発のなかまの会を立ち上げる時は、故月川至氏（前代表）と一緒に代表になってくれるようお願いしたのが、40年余り前になってしまいました。出発の家（兵庫県但東町）を建てる時、「建設資金を集めるまで髭をのばす」と言って伸ばし始めたのが、のちのちフーベルト神父のトレードマークである髭の始まりです。2年前の春、長年の日本での活動を終えられ、ふる里のドイツに帰られました。私は2年前の6月ドイツのケルンでフーベルト神父にお会いし、夕食を共にしました。その時「ドイツであなたに会えるとは夢のようだ」と言って、とても喜んでくれた表情を忘れることができません。本当に長い間私達を支えて下さってありがとうございました。ふる里のドイツで安らかにお休みください。

(ヒロヒサ・O)



こそだ にっき
スタッフ子育て日記



今年、長男は高校へ、次男は中学へそれぞれ進学しました。新型コロナの影響もあり、例年のような卒業式・入学式は行うことはできませんでしたが感慨深いものがありました。そして長い長い春休み(?)へと突入。とくに我が家にとっては初めての高校生。いろいろと不安もありましたが、学校からタブレット端末が支給されていることもあり、自宅でも授業を受けることができたのは良かったように思います。便利な時代になったものだと感心しておりました。

ある日、いつものようにタブレット端末で長男が授業を受けていたのですが、よく見ると体操服姿ではありませんか。「えっ?なにしてるの?」と聞くと、オンラインで体育の授業とのこと。自分で動画を撮って先生に送るそうです。

新しいスタートがこのような状況だったので心配していましたが、本人たちは楽しんでいるようです。

(シゲヒロ・M)

NPO総会&どんだん総会を終えて

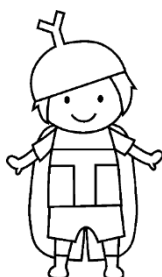
2020年5月31日(日)に出発のなかまの会会議室にて、第21回定時総会をおこないました。今年の総会は、これまでと違い新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、会員の皆さまに集まっていただく形ではなく、議案について書面での表決とさせていただきます。初めての試みでわかりにくい方法であったにもかかわらず、皆さますぐに対応してくださり、本当にありがとうございました。ご協力のおかげで、正会員121名のうち出席者115名(うち書面表決42名、委任状69名)で、定款に定める総会として成立いたしました。

議案書の内容についてのメンバーへの情報提供は、例年通りたくさんの写真を使って事業報告や事業計画の説明会をおこないました。今回は、密を避けるためにすきっぷと各作業所でおこない、5チームに分かれてもらいました。写真を見るとみなさんいろいろ思い出すようで「あんなことやったね!」「おもしろかったわ!」と楽しみながら1年間を振り返ることができました。メンバーとの距離が近くて、掛け合いができることもあり、やはり今年も時間が押しってしまったチームもあったようです。2020年度事業計画では、4月に開所した“みらくる ゆーすと”(児童発達支援・放課後等デイサービス事業所)、開所予定の障害児相談支援事業、延期になっている出発のなかまの会40周年記念事業についても報告しました。

いつもNPO総会のあとにおこなっている自立生活センター・どんだんの総会も今年にはできないので、どんプロ委員がどんだん総会のビデオレターを作って、メンバーに見てもらいました。どんプロ委員が分担して、2019年度決算と2020年度予算の報告、2020年度どんプロ委員とどんだんの目標を発表しました。目標は『どんだんのみんなで力を合わせてがんばろう!!』『ヘルパーさんを増やすために、一緒に考えよう!!』『交渉がんばるぞー!』の3つに決まりました。早く自由にどんだんの活動ができるようになってほしいです。

いつも温かいご支援・ご協力本当にありがとうございます。2020年度は、なかなか厳しい状況になりそうですが、活動を停滞させることなく、地域の方々と連携して、社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わっていきたいと思います。

(ヨシミ・I)



活動のあと

- | | |
|--|--|
| 5/12 執行委員会/新人職員研修/出発通信発送 | 8/7 大阪府立桃谷高等学校職業理解説明会 |
| 5/18 理事会 | 8/12 生野グループホーム連絡会 |
| 5/23 総会議案書説明会・どんどん総会① | 8/16 サラダボウルプロジェクトミーティング |
| 5/25 総会議案書説明会・どんどん総会②③ | 8/17 臨時執行委員会 |
| 5/26 総会議案書説明会・どんどん総会④⑤ | 8/19 生野子育て社会化研究会勉強会 |
| 5/28 執行委員会 | 8/22 子育てなんでも相談会(生野子育て社会化研究会) |
| 5/31 NPO 法人出発のなかまの会総会 | 8/23 児童英語教室 English Park Sunny Smile(松野農園) |
| 6/5 グループホームスタッフ全体会議 | 8/28 大阪府桃谷高等学校より見学 |
| 6/9 新人職員研修 | 8/29 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座① |
| 6/16 生野子育て社会化研究会/生野子ども食堂 | 内部研修(発達障害勉強会) |
| 6/18 人材募集プロジェクトチーム会議 | 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座② |
| 6/22 食と農のプロジェクトアクションチーム会議 | 8/30 執行委員会 |
| 6/23 新人職員研修 | 9/1 “ともこれ”(障害児相談支援事業所) 事業開始 |
| 6/26 地域共生ケア生野推進委員会役員会/障大連運営委員会 | 9/3 生野区グループホーム連絡会 |
| 7/1~31 実習受け入れ開始(四天王寺大学) | 9/4 グループホームスタッフ全体会議 |
| 7/3 グループホームスタッフ全体会議 | 9/5 知的障がい者(児)ガイドヘルパー講座③ |
| 7/7 生野子ども食堂 | 9/8 安全委員会 |
| 7/8 生野区グループホーム連絡会世話人会/
生野学童期子ども支援連絡会役員会 | 9/9 生野区学童期子ども支援連絡会役員会 |
| 7/9 生野区自立支援訪問系事業者連絡会 | 9/10 消防設備法定点検①/大阪府オールラウンド交渉① |
| 7/10 通信編集会議 | 9/11 消防設備法定点検②/大阪府オールラウンド交渉② |
| 7/12 児童英語教室 English Park Sunny Smile(松野農園) | 9/14 生野区 NPO 連絡会 |
| 7/15 生野区学童期子ども支援連絡会 | 9/16 生野区学童期子ども支援連絡会 |
| 7/17 ドロン(松野農園)/障大連大阪市ブロック会議 | 9/17 障大連グループホーム世話人研修会「防災」
生野区相談支援事業者連絡会 |
| 7/19 サラダボウルプロジェクトミーティング(松野農園) | 9/18 障大連大阪市ブロック会議「大阪都構想」 |
| 7/20 ひとり暮らし食事会会議/地域共生ケア生野推進委員会 | 9/23 生野区 NPO 連絡会研修 |
| 7/21 相談支援事業指定申請/内部研修(発達障害勉強会) | 9/24 どんどんプロジェクト会議 |
| 7/23~24 みらくる【体験宿泊】(奈良県平群) | 9/25 地域共生ケア生野推進委員会 |
| 7/28 執行委員会 | 9/26 みらくる学習会(進路について) |
| 8/3~9/8 実習受け入れ開始(桃山学院大学) | 9/28 執行委員会 |
| 8/4 生野子育て社会化研究会 | 9/29 内部研修(発達障害勉強会) |
| 8/5 グループホームスタッフ全体会議 | 9/30 障大連連続研修会①「障害者運動の歴史」 |

正会員、寄付者として出発のなかまの会の活動をご支援ください!

- ◆正会員・・・活動を支援し、総会に参加して下さる個人の方
会費 3,000 円+通信送料 300 円 計 3,300 円
- ◆寄付者・・・活動を支援して下さる個人・団体の方
寄付金 年間 3,000 円以上

★認定NPO法人として認定されましたので、当会へのご寄付は、税制上の優遇措置【所得税・個人住民税(大阪市内・府内にお住まいの方)】を受けられるようになりました。認定 NPO 法人として続けていくためには、年間 3,000 円以上寄付して下さる方が、100 人以上必要です。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

- ◆購読者・・・出発通信を購読して下さる方 購読料 500 円

☆振込先：郵便振替 00910-9-306080
特定非営利活動法人 出発のなかまの会

※通信の郵送がご不要の方はご一報ください。

編集後記

通信をつくるにあたり、毎回担当で会議を開いています。今回、記事の内容を決めていく際も何かにつけ、新型コロナウイルスが回りに、だんだん雰囲気も暗〜く、重〜いものになっていきました…。それでも、「なんとか! 毎日暮らしやすくなるよ!」そんな気持ちになってもらえる記事が集まりました。(マヤ・Y)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011
大阪市生野区田島 1-10-30 たびだち共働作業所内
TEL 06-6758-6641
FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080
(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)
Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp
ホームページ <http://www.tabidati.jp/>

750 部

一九八四年八月二十日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町二・二 東興ビル4階

頒価百円